

馬にタッチ 心安らぐ



ポニーに乗ったり、餌をあげたりして触れ合う
生徒ら＝羽島市正木町大浦、羽島特別支援学校

羽島特別
支援学校 生徒らセラピー体験

笠松競馬場(羽島郡
笠松町若葉町)の引退
した競走馬などを医療
分野で活用する「ホー
スセラピー」の実施に

向け、羽島市正木町大
浦の羽島特別支援学校

で、小学部と中学部の
約60人が同競馬場のポ
ニーと触れ合った。
ホースセラピーは、
乗馬することで balan
ス感覚が鍛えられ、安
らぎの効果もあるとし
て、心身両面の治癒で
注目される。地域資源
を医療に生かそうと、
松波総合病院(同郡笠
松町田代)が同町、同
競馬場などと研究会を
設立し、人材の育成な
どを始めている。

この日は試験的に、
セラピー用ではない同
競馬場所有のポニー2
頭を連れて同病院の理

学療法士らが訪問。生
徒は恐る恐る餌のニン
ジンを与えたり、馬に
またがったりした。中
学部2年鎌屋那音さん
(14)は「緊張したが、
うれしそうに餌を食べ
てくれてうれしかっ
た」と笑顔をみせた。
出口和宏校長は「こ
の地域ならではの取
組み。継続してもらい、
ホースセラピーが同校
の特徴の一つになれ
ば」と期待を語った。
(亀山大樹)